

第3学年3組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年11月7日(水) 13時35分～14時20分 3年3組教室

2. 議題「〇〇先生にプレゼントをしよう」

*学級目標
協力あふれる あきらめないクラス
・どんなことにもチャレンジ
・みんなの話を聞く
・友だち思い

3. 議題について

(1) 児童の実態

素直で、何事にも一生懸命に取り組む児童が多い。男女の仲も良く、落ち着いて学校生活を送っている。4月当初は、学年が4クラスから3クラスになったことで、人数の多さに慣れず、元々クラスが同じだった友達や仲がよい友達と一緒に遊んだり、行動したりしていた。学級目標を作る時には、担任の「この1年間を全員で1つのことに向かって取り組んでほしい」という思いと共に「クラスみんなで、はじめてのことであっても協力して取り組みたい」「どんなこともあきらめないで最後までやりたい」という思いが児童たちから多く出てきた。そこから、「協力」「あきらめない」という言葉があがり、達成するためには友達の気持ちを考えた行動・発言をしたり、話をお互いに聞きあったりすることが必要だと考えてこの目標に決まった。

しかし、他者意識が低いという課題がある。何か活動をする、「自分ができているとよい」と考え、周りの友達に手を差し伸べたり、寄り添ってあげたりする場面があまり見られない。そのため、当番活動をグループで行うようにしたり、学習中にもペア学習や班活動を多く取り入れたりした。また、係活動を活発に行うことで、友達に対して意識を高めることができるようにしてきた。特に係活動では、定期的にどんな活動をしたいのかをグループごとに考えて、準備をして、取り組んだ。さらにクラスをよりよくするためにどのような活動をしたいかを考え、実践してきた。その中で言葉を交わし、相手の考えや思いを知り、互いの思いを理解してもらうためにはどうしたらよいかを考えて行動にうつすようになってきた。徐々に生活や学習の中で、声をかけ合う姿が見られるようになってきた。

第1回目の学級会では、「なかよくなる集会」を議題として行った。たくさんの遊びの考えがでたが、なかなかまとめることができなかった。自分の意見をどうにかして通したい児童がいる中で、少人数の意見にも目を向けてどうにかできないかと考えた児童もいたが折り合いがつかず、決まるまでに時間がかかった。実践後には、自分たちの思いが反映されたことに充実感や達成感を味わっていた。第2回では、「さらにみんなが笑顔になれるような集会をしたい」と声があがった。1回目に比べて、採用されなかった遊びを「休み時間にイベントパーティー係がやるといいと思う」という意見が出たり、心配意見やそれに対する解決案をみんなが考えたりする場面が出てくるようになった。この集会では、「メダルや賞状を渡す」という工夫を考えた。この工夫が児童にとってはうれしく、会をより楽しくするものになったようで、3回目の「ドキドキワクワク運動会」での集会を盛り上げる工夫につながった。「運動会」という言葉と「チームの仲を深めたい」という提案者の思いが「応援歌を作って、リレーの時に応援したい」や「トロフィーをあげたい」や「集会が終わった後によかった人を発表する」などの工夫につながった。学級会を重ねる中で、クラス全員が少しずつ「やってよかった」と思える集会にするためにはどうしたらよいか、児童たち自身で考えることができるようになってきた。

(2) 議題選定の理由

2年生からお世話になっている2組の先生が産休に入ることになった。その話をした後に、児童の中から「お世話になった先生にがんばってねの気持ちを伝えたい」という声があがった。それを聞いたほかの児童が「その気持ちをプレゼントとして〇〇先生におくりたい」と思いを伝えてきた。これまでは、自分たちのことを中心に考えがちだった児童たちから出た、先生のために何かをしたいという思いを大切にしたいと思った。また、相手がいることで自分の意見を押し通したり、人任せにしたりせず、話し合いができるのではないかと考えた。これまでは自分たちが楽しむための集会を行ってきたが、今回はその先生のことを思いながら、自分たちの気持ちが伝わるものを考えることができる機会と捉え、「〇〇先生にプレゼントをしよう。」という議題を選定した。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合っ て実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方について理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
10月中旬	・司会グループで次回の議題について選定する。	○児童の思いを議題につなげていく。 ☆学級の生活に関心をもち、次の学級会での話合うことについて考え、実践に向けて行動しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
10月30日(火) 中休み	・司会グループと提案者で話し合いの柱とめあてを教師と一緒に決める。また、司会グループの役割分担をする。	○学級会の日時を伝え、何を大切に話し合いたいかを担任と一緒に考える。 ○それぞれの役割分担を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆次の学級会に向けて、進んで準備しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
10月31日(水) 学習タイム	・司会グループから、議題と提案理由、話し合いの柱とめあてについて伝える。	○提案者の思いや話し合いの柱を伝え、一人ひとりが自分の考えをもてるようにする。 ☆議題に対して、関心をもち、学級会の見通しをもとうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月1日(木) 学習タイム	・自分の考えを学級会ノートに記入する。	○「何をプレゼントするか」についての考えをノートに書くように伝える。事前に意見を把握して、話し合いの方向性を確認できるようにする。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えと理由を記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月2日(金) 中休み	・集めたアイデアを整理して、短冊に書く。	○計画委員で集めた意見を短冊に書きながら整理し、話し合いの流れを担当と一緒に確認していく。 ☆効率的な司会グループの運営や話し合いの活動計画について考え、準備している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月5日(月) 朝の会	・「出し合う」段階の意見を学級に伝える。	○意見の中で、がんばってほしい気持ちが伝わるものは何か、自分たちにしかおかないプレゼントは何かを考えられるようにする。 ☆自分の考えを進んで伝えようとし、友達の考えをうなずいたり、反応したりして比べて聞こうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月6日(火) 中休み	・司会グループで学級会の流れを話し合い、練習する。	○司会グループが話し合いの流れをイメージできるように、必要な助言をする。 ☆話し合い活動の基本的な進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)

(2) 本時の活動

①ねらい ○○先生へのプレゼントの内容を話し合っ、決める。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題、提案理由、めあての確認</p> <p>議題 「○○先生にプレゼントをしよう」</p> <p>提案理由 「2年生の時から、勉強を教えてくれた○○先生に元気な赤ちゃんを産んでほしいと思いました。そして、赤ちゃんを産むのはとても大変なことだから、がんばってという気持ちを自分たちにしかできないプレゼントにしておくりたいと考えました。」</p> <p>話合いのめあて 「○○先生を元気づけて、3組らしいプレゼントをおくろう」</p> <p>4. 決まっていることの確認</p> <p>決まっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントは1つ ・日時：11月14(水) 4時間目 プレゼントを完成させる。 ・11月15日(木) 中休み プレゼントを渡しに行く。 <p>5. 話合い</p> <p>柱①「何をプレゼントするか決めよう」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出し合う (事前に提示しておく) ② 比べ合う ③ まとめる <p>柱②「プレゼントの工夫」 (予想される意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手紙と一緒に自分たちの写真も貼る。 ・寄せ書きにする。 ・一人ひとり手紙を書く。 ・歌の歌詞を○○先生との思い出の言葉にする。 <p>6. 決まったことの確認</p> <p>7. ふりかえり</p> <p>8. 先生の話</p> <p>9. おわりの言葉</p>	<p>○進行などでつまずいた時には、近くで助言をする。</p> <p>○声が聞き取りやすいことや、近くの人と相談しやすいことを考え、机をコの字型にする。</p> <p>○提案者の思いがクラス全体に伝わるように、事前に確認や助言をしておく。</p> <p>○めあてを意識した発言ができるように、事前に司会グループに助言しておく。</p> <p>○事前に決まっていることなどは黒板に提示しておく。</p> <p>○事前に集まった意見を掲示しておき、「比べ合う」段階から話合いを始める。</p> <p>○話合いのめあてからそれた場合には、めあてを再度確認するように全体に声をかける。</p> <p>☆司会グループとして、司会や記録などの役割を進んで果たそうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○出し合った中から、1つに決めることができるように、自分たちにしかできないプレゼントは何か声をかける。</p> <p>☆友達の意見を認めたり、うなずいたりしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○今日の話合いのよかったところを考えられるようにする。</p> <p>☆友達のよかったところを進んで見つけようとしている。(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○司会グループのがんばっていた点、児童のめあてを意識した意見や態度などを見つけて、賞賛し、準備や実践に意欲をもって取り組めるようにする。</p>

③本時の視点

- ・〇〇先生のことを考えながら、話し合いができたか。

④板書計画

先生の話し 決まったこと 振り返り	話し合い2 「プレゼントのくふう」 ○手紙をグループで書く。 ○替え歌の歌詞に〇〇先生との 思い出の言葉を入れる。 ○メダルの後ろにメッセージを 書く。	話し合い1 「何をプレゼントするか決めよう」 ○手紙 ○歌 ○メダル ○トロフィー ○花束	提案理由 〇〇さん 「二年生の時から、勉強を教えてくれた〇〇先生に元気な赤ちゃんを産んでほしいと思いました。そして、赤ちゃんを産むのはとても大変なことだから、がんばってという気持ちを自分たちにしかできないプレゼントとしておくりたいと考えました。」 めあて 「〇〇先生を元気づけて3組らしいプレゼントをおくろう」
決まっていること ・プレゼントは1つ ・11月14日(水) 4時間目 プレゼント完成 ・11月15日(木) 中休み 渡しに行く			

第五回 三年三組学級会

議題 「〇〇先生にプレゼントをしよう」

提案理由 〇〇さん

「二年生の時から、勉強を教えてくれた〇〇先生に元気な赤ちゃんを産んでほしいと思いました。そして、赤ちゃんを産むのはとても大変なことだから、がんばってという気持ちを自分たちにしかできないプレゼントとしておくりたいと考えました。」

めあて 「〇〇先生を元気づけて3組らしいプレゼントをおくろう」

話し合い1 「何をプレゼントするか決めよう」

- 手紙
- 歌
- メダル
- トロフィー
- 花束

話し合い2 「プレゼントのくふう」

- 手紙をグループで書く。
- 替え歌の歌詞に〇〇先生との思い出の言葉を入れる。
- メダルの後ろにメッセージを書く。

決まったこと

先生の話し

決まっていること

- ・プレゼントは1つ
- ・11月14日(水) 4時間目
プレゼント完成
- ・11月15日(木) 中休み
渡しに行く

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援(○)と評価(☆)
11月8日(木) 学習タイム	・役割分担をする。	○決まった内容に沿って、必要な役割を見つけ協力して全員で役割分担できるようにする。 ☆必要な役割分担を考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月8日(木)～	・各分担で準備を進める。	○めあてを掲示し、意識できるようにする。 ☆決まった役割の準備を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月14日(水) 4時間目 学活	・プレゼントを完成させる。	○協力して進められるように声をかける。 ☆自己の役割などについて考え、みんなで決めた内容について助け合って実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月15日(木) 中休み	・プレゼントを渡しに行く。	○準備してきたことができるように、必要に応じて声をかけながら見守る。 ☆自己の役割などについて考え、みんなで決めた内容について助け合って実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月15日(木) 帰りの会	・実践を振り返り、振り返りカードに感想を書く。	○振り返りカードにめあてに沿った実践ができたかどうかを中心に書くように伝える。 ☆みんなで決めたことをみんなで実践することの意義について理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)